

小学校3年生を対象とし

# 自然環境体験学習の授業が

## 北区しあわせの村 神戸市シルバーカレッジの里山



で受けられるようになりました

しあわせの村にあるシルバーカレッジの里山“花実の森”を『学習の森』として整備を進めてきましたが、このたび小学校3年生を対象とした【自然環境体験学習】の授業内容を整え、複数の学級単位での授業を受け入れる体制が整いましたので、ここにその概要をお知らせし、ご活用いただきますようご案内させていただきます。

### 【 自然環境体験学習 授業の概要 】

受け入れ場所：  
神戸市北区しあわせの  
村内シルバーカレッジ  
の里山“花実の森”

受け入れ時期：  
原則1学期または2学期です  
3学期の希望についてはご相談させていただきます

授業時間：  
原則午前中の3時間  
(9:30 来場 12:30 退場)

受け入れ人数：  
1～2クラス（1クラス 30～40名）

受け入れ団体名（問い合わせ先）：  
NPO 法人 社会還元センターグループ わ  
でんわ 078-743-8101  
FAX. 078-743-3830  
E-Mail group\_wa@wa-net.jp  
URL <http://www.wa-net.jp>



緑葉期の里山



落葉期の里山

## 【 自然環境体験学習 授業の内容】

小学校の授業向けとして 1979 年に米国のナチュラリストである、ジョセフ コーネル氏により発表されたネイチャーゲーム(日本で考案されたものを含めて現在 130 以上の認定数)の主旨・理念を踏まえた内容のゲームを組合せた授業を企画しております

上記に、ここの里山の特性を生かした内容の授業とも組み合わせるものも考えております

ゲームとしての勝敗ではなく「自然への気付き」、「子どもたちのわかちあいの心」を大切に、子どもたちの五感をフルに活かせる内容となるよう心がけております

学校に帰った後の授業にも生きる内容のネイチャーゲームを取り入れるよう心がけております

### 内容例1

## 『ミクロハイク』

- ・足元の世界への関心を高める
- ・小さな生きものの気持ちになる

### ◎アクティビティのねらい

地面はたくさんの生きものが棲む場所でもあります。しかし、彼らは小さな体で草むらを動いているので、なかなか私たちの視界に入りません。この活動では、私たちの視点を変えることにより足元の世界への関心を高め、生きものたちに出会うことができます。



### ◎適正条件

場所 : 花実の森 または カレッジ中庭  
(地面が湿っていない所)  
季節 : 春～秋 (夏の炎天下は避ける)  
人数 : 5～30人  
実施時間 : 20～40分

### ◎子どもたちが持参するもの

- ・筆記具・観察ノートなど学校で事前に指示

### ◎子どもたちの服装

- ・地面・草むらの上に腹ばいになっても差支えない服装で来るよう学校で事前に指示

### 内容例2

## 『大地の窓』

- ・自然との一体感を感じる
- ・小自然の美しさを観賞します

### ◎アクティビティのねらい

この活動では、落ち葉の中に全身をうずめてわずかに開いた「大地の窓」から静かに森を見上げることで、自分自身が自然にとけ込む感覚が生まれます。この活動は子どもたちの心に強く残る自然体験となるでしょう。



### ◎適正条件

場所 : 落ち葉のあるあまり騒がしくない場所、適度に葉の茂った大きな木の傍で、木々の空間もある場所、石ころの少ない場所  
季節 : 葉を多く付けた初夏～初秋がよい  
人数 : 2人ペア  
実施時間 : 30分前後






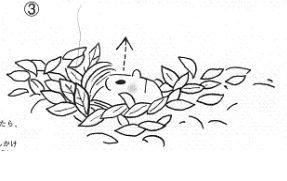
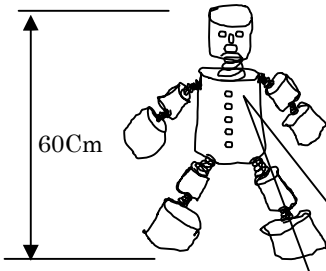
### ◎子どもたちが持参するもの

- ・筆記具・観察ノートなど学校で事前に指示

### ◎子どもたちの服装

- ・地面・落ち葉の上に寝ころんでも差支えない服装で来るよう学校で事前に指示

# 時間割 『マイクロハイク』+『大地の窓』

9:30	学童到着 オリエンテーション	自然を体験する意味を解きながらも、具体的な内容説明は、現場につくまで伏せておき、期待感を盛り上げる。
40	体験場所へ移動 体験時の注意事項	班別行動で現場に移動。活動上の留意点や安全注意をしっかりと伝える。おしゃべりはさせず、しずかな気持ちで集中させるように仕向ける。
50	「マイクロハイク」体験開始	活動内容や手順のポイント記載
10:00	手順に沿って活動開始。集中心が途切れないように、遊びではなく、自然を感じ取る姿勢を持続させる。適宜交代で観察し、じっくり観察時間を確保する。感想や感じたことをその場で書き残すことも推奨していく。	  
10		<p>① 腹ばいになってマイクロの探検を始める</p> <p>② 虫メガネの使用上の注意もしっかり伝える</p> <p>③ 地面に顔をつけ、虫メガネを縦にして糸の端をたどりながら少しずつ前に進む。虫メガネと一本の糸があるだけで足元の広がる自然を見直すことができる。</p>
20	「マイクロハイク」体験終了	
30	わかちあい	合図の笛で全体の活動(観察)を終了させ、現場でクラス毎にわかちあいの意見発表。出てきた意見を黒板代わりの用紙に記載。ここではあえて意見の集約は行わず、いろいろな見方があることに気づかせ、わかちあうことに集中する。
40	学習ノートや観察ノートにまとめを記載	児童の感想を尊重、大人の感情を誘導しないようこころがける。
50	次の体験場所へ移動 体験場所着 体験時の注意事項	班別行動で現場に移動。活動上の留意点や安全注意をしっかりと伝える。おしゃべりはさせず、しずかな気持ちで集中させるように仕向ける。
11:00	「大地の窓」体験開始	活動内容や手順のポイント記載
10	手順に沿って活動開始。集中心が途切れないように、遊びではなく、自然を感じ取る姿勢を持続させる。	  
20		<p>① 地面に仰向けに寝ころぶ</p> <p>② 顔を除いてそっと枯葉をかぶせていく</p> <p>③ 静かに森と大空の景色を観察したり、どんな音が聞こえるか耳をすましてみる</p>
30	「大地の窓」体験終了	
40	わかちあい	合図の笛で全体の観察を終了させ、現場でクラス毎にわかちあいの意見発表。出てきた意見を黒板代わりの用紙に記載。ここではあえて意見の集約は行わず、いろいろな見方があることに気づかせ、わかちあうことに集中する。
50	学習ノートや観察ノートにまとめを記載	
12:00	発表・記念写真・記念工作など	
10	帰校準備・点呼	
20	帰校に向けて出発	<p>◎ 記念工作の例</p> <p>花実の森にサンプルを展示しておき、いろいろな太さ・長さの丸太をお土産に渡してクラスに持ち帰り、自分たちで一体作り上げるような記念工作も面白いのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイズは3年生等身大が望ましいが、重くなるので半分くらいでもよい。</li> <li>・名前はクラスのみみんなで決めてもらう</li> <li>・どこにいつまで置かかもみんなで考える</li> </ul>
		君たちが来てくれるのを待ってるよ～